

◆H22 年度 発達応援セミナーのテーマについて

※発達応援セミナー：障がいへの正しい理解を図るため、市民及び関係機関職員を対象にした講演会

機関名	意見
三条市小学校長会	「小中学校の連携」の上で、通常学級の特別支援教育の在り方を保護者（市民）・学校職員・関係機関で話し合っていくことがとても重要だと考える。 従って、「発達障がいの理解と支援方法」というようなテーマで、三条市のこれからの特別支援教育について話し合っていく（講演を開く）のはいかがか。
三条市中学校長会	就学前の子ども達の発達に関わるサインに敏感に気づき、早期の対応が何よりも大事である。何も手をつくされない子がそのまま放置されると、二次障害や予後がとても困難である。「早期教育」に関する先進の取組など情報として市としての取組について聞かせて欲しい。
三条地区高等学校長会	障がいのある子どもへの支援と、関連機関の連携
県立月ヶ岡養護学校	医療の立場、教育の立場、福祉の立場、親の立場のいずれかだと思うが、親の立場から話をしてもらうのもよいかと思う。
三条市私立幼稚園連盟	「障害の姿なのかな？」と疑わしき実態であったり、保護者の方にお話ししても「1対1ならできるはず」と受け入れられないなどの実態もあるため、こちらとしてもどう保護者に伝えていくか、接していくかということを、ぜひ踏まえてお話いただきたい。
三条市社会福祉協議会	障がい者（児）への接し方等を知りたい。
私立保育園連盟 連絡協議会	障がいを持ったお子さんも心豊かに育って欲しいので、「豊かな育ちを支援するために…」はいかがか。
三条市手をつなぐ育成会	1 知的障がい者の重度の病気に対する医療機関の取り組みについて 2 知的障がい者の高齢化対策について 3 認定制度の変化について

機関名	意見
三条公共職業安定所	障害者を採用している企業から見た「障害者の雇用について」（障害者に何を期待しているのか） （ 障害と言っても色々ある。身体・知的・精神・その他。身体であれば障害部位等。 企業が求めている仕事が健常者でなければ出来ないものなのか。一般求人を出している企業に障害を持っている人が面接をお願いしたい旨連絡すると、数は少ないが、OKの返事をいただくことがある。 このように、障害者を紹介している現状がある。障害者の就活のヒントになるような講演会をお願いしたい。
三条市立公立保育所	新潟大学医学部精神科教授 染矢俊幸先生 自閉症・アスペルガー等の発達障がいの子どものこと、またその対応・支援の仕方等について、新潟日報に5月に大きく紹介されていた。精神科の方面からお話をお聞きしたいと思う。
三条市児童館・児童クラブ	障がいのある子とそうでない子ども達が集団生活する上で大人が配慮すべきことは何か。講演会は、講義だけでなく、具体的な対応の仕方まで及んだ内容が望ましい。